

令和7年度

教育に関する事務の管理及び
執行の状況の点検及び評価
報告書

台東区教育委員会

目 次

1	目的及び根拠	3
2	点検及び評価の対象	4
3	点検及び評価の方法	5
4	学識経験を有する者の知見の活用	6
5	点検及び評価の結果	6
	基本目標毎の総括評価	7
	各事業毎の個別評価	1 3
	基本目標 1 生涯スポーツ社会の実現	1 3
(1)	子供の体力向上[重点施策]	1 3
	・ 幼児の体力向上	
	・ 児童・生徒の体力向上	
(2)	高齢者が健康に暮らせるスポーツ施策の充実	1 4
	・ 地域のつながりの強化	
(3)	働き盛り・子育て世代への支援	1 4
	・ 親子で参加できるスポーツ事業の実施	
(4)	身近なスポーツ環境づくり	1 5
	・ 正しいラジオ体操の普及・促進	
	・ スポーツを始めるきっかけづくり	
	・ 誰でも参加できる教室事業	
	・ 区民が活躍する大会事業	
	・ 【新規掲載】オンラインを活用した事業	
(5)	スポーツを支えあうひとのつながり	1 8
	・ ボランティアの育成	
	・ スポーツを行う団体との連携	
	・ スポーツを支える指導者の育成	
(6)	スポーツに関する講座の開催・情報発信	1 9
	・ スポーツへの理解を深める講座の開催	
	基本目標 2 スポーツのできる環境の整備	2 0
(1)	台東リバーサイドスポーツセンター屋外施設の整備[重点施策]	2 0
	・ 陸上競技場の改修及び庭球場等周辺環境の整備	

(2)	バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進	20
	・ 建物のバリアフリー・ユニバーサルデザイン	
	・ 心のバリアフリー・ユニバーサルデザイン	
(3)	快適に利用できるスポーツ施設の運営	21
	・ スポーツ施設の管理運営	
	・ 区外スポーツ施設の活用	
(4)	身近な運動場所の確保	22
	・ 区立小・中学校の活用	
	・ その他の施設の活用	
基本目標3 スポーツにより支えあう社会の実現（障害者スポーツの推進）		24
(1)	障害のある方がスポーツを始めるきっかけづくり	24
	・ 気軽に障害者スポーツに触れる機会	
(2)	障害者スポーツを継続できる環境づくり	25
	・ 継続したスポーツ教室・イベント事業	
	・ 誰もが楽しく障害者スポーツをできる場所づくり	
(3)	障害者スポーツを通じた相互理解〔重点施策〕	26
	・ 共生社会に向けた障害者スポーツ教育・講座	
	・ 障害者スポーツによる区民の交流	
	・ パラリンピック競技の大会誘致・パラアスリート支援	
6	学識経験者による意見	28
7	参考資料	34
	・ 教育振興のための施策に関する基本的な計画一覧	
	・ 台東区教育大綱	
	・ 教育目標	

1 目的及び根拠

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、平成20年4月から全ての教育委員会は、毎年、事務の管理及び執行状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することとされました。また、点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされています。

台東区教育委員会では、教育行政をより効果的、効率的に推進するため、平成20年度から主要な施策や事務事業の取組状況について点検及び評価を毎年実施しており、令和6年度の点検及び評価の実施結果を報告書にまとめました。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検及び評価の対象

台東区教育委員会では、平成30年度より「学びのキャンパス台東アクションプラン」、「生涯学習推進計画」及び「スポーツ振興基本計画」の3つの計画のうち、教育委員会以外の事業を除いた施策及び事業について点検及び評価を行い、教育行政の推進を図ってまいりました。

今年度については、「スポーツ振興基本計画」に掲載されている事業のうち、計画上重点施策と定めた事業及び新規に掲載した事業を対象に点検及び評価を行いました。施策については、取組の成果や課題等を踏まえて総合的に点検及び評価を行っています。

点検及び評価を行った29事業は下記の表のとおりです。

※下記の表は、スポーツ振興基本計画の体系図から対象事業のみを抜粋したもの。なお、「NO.」はそれぞれ、基本目標－施策－取組を表す。再掲事業については、事業名に「[再掲事業]」と記載している。

[スポーツ振興基本計画]

通し番号	NO. (基本目標-施策-取組-枝番号)	事業名等	掲載 ページ
1	1-1-1	幼児の体力向上指導	13
2	1-1-2	【新規掲載】中学校運動部活動の地域連携・地域移行	13
3	1-2-1	夏期ラジオ体操会地区大会の開催[再掲事業]	14
4	1-3-2	親子水泳教室	14
5	1-4-1-①	ラジオ体操指導者講習会	15
6	1-4-1-②	夏期ラジオ体操会地区大会の開催	15
7	1-4-2	【新規掲載】スポーツの祭典(たいとうスポーツフェスタ)	16
8	1-4-3	台東リバーサイドスポーツセンター スポーツ教室	16
9	1-4-4	区民体育祭の開催	17
10	1-4-5	【新規掲載】スポーツひろば オンラインスポーツ教室	17
11	1-5-1	スポーツボランティアの育成	18
12	1-5-2	社会教育関係団体登録・育成	18
13	1-5-3	スポーツひろば指導員育成	19
14	1-6-1	台東学びの広場	19
15	2-1-1	台東リバーサイドスポーツセンター陸上競技場の改修及び庭球場等周辺環境の整備	20
16	2-2-1	台東リバーサイドスポーツセンター	20
17	2-2-2	区立スポーツ施設職員の教育	21
18	2-3-1	台東リバーサイドスポーツセンター	21
19	2-3-2	荒川河川敷運動公園運動場	22
20	2-4-1	スポーツひろば	22
21	2-4-2	ランニング環境の整備	23
22	3-1-2-①	【新規掲載】スポーツの祭典(バラスポーツ)	24
23	3-1-2-②	【新規掲載】障害者スポーツ大会	24
24	3-2-1	城北ブロック4区合同レクリエーション大会	25
25	3-2-2	障害者スポーツ優先利用タイムの導入	25
26	3-3-1	区立小・中学校での障害者スポーツ教育	26
27	3-3-2-①	【新規掲載】スポーツの祭典(バラスポーツ)[再掲事業]	26
28	3-3-2-②	【新規掲載】障害者スポーツ大会[再掲事業]	27
29	3-3-3	パラアスリートへの支援及び連携	27

3 点検及び評価の方法

本報告書では、施策及び取組を客観的な基準で採点し、評価するために、教育施策総括シート及び教育事業評価シートを活用しました。

(1) 教育施策総括シート

教育施策総括シートには、各計画ごとに掲げた基本目標に対する昨年度の取組結果をまとめました。また、各事業ごとの個別評価を一覧としてまとめています。

(2) 教育事業評価シート

教育事業評価シートでは、各事業ごとに事業を所管する課が点検・評価をしています。シートの見方は下記のとおりです。

N0.	①		
取 組		②	
事 業 名		③	
取 組 の 概 要		④	
事 業 目 標		⑤	
6 年 度 事 業 評 価	担当課評価	⑥	⑦
	成果、課題等	⑧	

⑨【●●課】

【教育事業評価シートの見方】

- ①②③…各計画ごとの位置づけ
- ④…各計画に記載されている取組の概要
- ⑤…事業の令和6年度の目標
- ⑥…評価基準に基づいて担当課ごとに行った評価
- ⑦…⑥のように評価した理由
- ⑧…事業の令和6年度の成果、課題
- ⑨…事業の所管課名

(3) 教育事業評価シートの評価基準について

教育事業評価シートについては、次の基準で3段階に分けて評価しました。ただし、今回対象としている「台東区スポーツ振興基本計画」については、計画目標が計画最終年度である令和9年度末時点で設定しているため、点検対象とする事業実施年度(令和6年度)における進捗度で評価しています。

【評価基準】

評価	評価基準
A	計画どおり進捗している又は計画された事業が実施されている場合
B	概ね計画どおり進捗している又は計画された事業が一部実施されている場合
C	計画の進捗に遅れが生じている又は計画された事業が未実施の場合

4 学識経験を有する者の知見の活用

点検及び評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方のご意見をお聞きする機会を設け、様々なご意見、ご助言をいただきました。

■ 学識経験者

氏 名	所 属 等
白 旗 和 也	日本体育大学教授・博士
池 谷 美 衣 子	東海大学准教授・博士

5 点検及び評価の結果

今回行った点検及び評価の結果については、次ページ以降のとおりです。

教育施策総括シート

【台東区スポーツ振興計画】

【基本目標１】生涯スポーツ社会の実現

『スポーツでみんながつながり輝く台東区』を実現するためには、区民それぞれの体力や年齢、技術、目的に応じたスポーツの機会が継続的に提供されることが必要です。また、スポーツの広がりが継続するためには、スポーツを「する人」だけでなく、地域スポーツ団体やボランティアといったスポーツを「支える人」への支援も欠かせません。

生涯にわたってスポーツに親しむための様々な事業(ソフト)を実施し、多くの人にスポーツに触れてもらうことで、スポーツ実施率を世界最高レベルの70%まで高め、生涯スポーツ社会の実現を目指します。

基本目標に対する昨年度の取組結果

○施策１「子供の体力向上」

幼児の体力向上（取組１）において、幼児の体力向上指導については、区立園２３園での事業が実施できており、幼児の基礎体力向上に寄与した。

児童・生徒の体力向上（取組２）において、中学校運動部活動の地域連携・地域移行については、令和５年度から部活動の改革推進期間のモデル事業として、陸上競技クラブを設置し、運動機会を確保すると共に、休日の陸上競技部指導に関する負担軽減を図った。今後も、国が示した改革実行期間に地域展開ができるよう関係者と連携して取り組んでいく。

○施策２「高齢者が健康に暮らせるスポーツ施策の充実」

地域のつながりの強化（取組１）において、夏期ラジオ体操会地区大会の開催については、区民の体力向上と健康で明るい生活の基盤をつくるため、区内１１箇所でラジオ体操の普及を図ることができ、滞りなく事業の進捗を図った。

○施策３「働き盛り・子育て世代への支援」

親子で参加できるスポーツ事業の実施（取組２）において、親子水泳教室については、令和６年度は、清島温水プールが改修工事のため、開館期間が５か月間であったことから、教室の実施回数が減となり、参加者数が目標に達しなかった。

○施策４「身近なスポーツ環境づくり」

正しいラジオ体操の普及・促進（取組１）において、ラジオ体操指導者講習会については、夏期ラジオ体操会地区大会に向けて指導者育成のための講習会を４日間開催した結果、参加者数が目標に達し、適切に事業を実施した。また、夏期ラジオ体操会地区大会の開催については、区民の体力向上と健康で明るい生活の基盤をつくるため、区内１１箇所でラジオ体操の普及を図ることができ、滞りなく事業の進捗を図った。

スポーツを始めるきっかけづくり（取組２）において、スポーツの祭典(たいとうスポーツフェスタ)については、令和６年度は清島温水プールが改修工事のため休館していたため、水泳事業は未実施となり、参加者数が目標に達しなかった。

誰でも参加できる教室事業（取組３）において、台東リバーサイドスポーツセンターのスポーツ教室については、硬式テニス・アーチェリー・ゲートボール・ダンスエクササイズ・卓球・弓道・水泳・バウンドテニス・ソフトテニス・パドミントンの１０教室を実施した。今後は、フェンシング初心者教室を再開できるよう、関係団体等と調整を図っていく。

区民が活躍する大会事業（取組４）において、区民体育祭の開催については、コロナ禍後、参加者数は増加傾向にあるが、コロナ禍以前と比べると依然として参加者数は少ない状況にあり、参加者数が目標に達しなかった。

オンラインを活用した事業（取組５）において、スポーツひろばのオンラインスポーツ教室については、コロナ禍における措置としてオンライン教室を導入したが、コロナ感染症の５類移行後は参加者数が目標に達しなかった。

○施策５「スポーツを支えあうひとのつながり」

ボランティアの育成（取組１）において、スポーツボランティアの育成については、スポーツボランティアの登録制度により、区内外のスポーツイベントの情報提供を行い、計画目標を達成し、滞りなく事業の進捗を図った。

スポーツを行う団体との連携（取組２）において、社会教育関係団体登録・育成については、団体登録や団体からの個別相談等に対応することで社会教育関係団体の円滑な活動につなげることができている。

スポーツを支える指導者の育成（取組３）において、スポーツひろば指導員育成については、前期と同様の指導員が担ったため講習会は未実施であった。

○施策６「スポーツに関する講座の開催・情報発信」

スポーツへの理解を深める講座の開催（取組１）において、台東学びの広場については、目標通り講座を開催することでスポーツに関する学習機会を提供することができた。区民のスポーツへの理解増進を図るとともに、自主的に活動を行うサークルが誕生した講座もあり、学習活動を通じた区民同士の交流も生まれた。

【基本目標２】 スポーツのできる環境の整備

区民がスポーツを身近で親しむためには、区立スポーツ施設の適切な維持管理はもちろん、スポーツのできる場所の充実等への対応が必要です。

台東リバーサイドスポーツセンターは、東京２０２０オリンピック・パラリンピックトライアスロン競技の練習会場となりました。大会のスポーツレガシーとして、スポーツのできる環境は、障害の有無や年齢に関わらず、誰でも利用しやすいようバリアフリー・ユニバーサルデザインを推進する必要があります。

ここ数年は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う施設の休館等により、施設利用者数は大幅に減少していますが、より多くの区民に、スポーツ施設を利用してもらえるよう、適切な維持管理に取り組むとともに、区民の誰もが身近で、安心してスポーツができる環境の整備を行います。

基本目標に対する昨年度の実施結果

○施策１「台東リバーサイドスポーツセンター屋外施設の整備」

陸上競技場の改修及び庭球場等周辺環境の整備（取組１）において、台東リバーサイドスポーツセンター陸上競技場の改修及び庭球場等周辺環境の整備については、令和５年度に実施した陸上競技場の設計を踏まえ、令和６年度に整備方針の見直しを行った。今後、陸上競技場の整備に併せて、区民の利便性が向上につながるよう周辺環境を整備していく。

○施策２「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進」

建物のバリアフリー・ユニバーサルデザイン（取組１）において、台東リバーサイドスポーツセンターについては、現在の陸上競技場には観覧席上部へ繋がるエレベーターの設置がなく、全てのトイレがバリアフリー化していないことから、今後の改築工事に併せて、整備をしていく。

心のバリアフリー・ユニバーサルデザイン（取組２）において、区立スポーツ施設職員の教育については、管理運営を業務委託している柳北スポーツプラザ、たなかスポーツプラザ及び荒川河川敷運動公園運動場に、初級パラスポーツ指導員の登録者を配置した。

○施策３「快適に利用できるスポーツ施設の運営」

スポーツ施設の管理運営（取組１）において、台東リバーサイドスポーツセンターについては、スポーツ教室のうちフェンシング教室は休止となっているため、今後、再開に向けて、団体と協議・調整していく。

区外スポーツ施設の活用（取組２）において、荒川河川敷運動公園運動場については、コロナ禍以前と比べると利用者人数は少なく目標には達しなかったが、前年度より４，０００人以上増加している。

○施策４「身近な運動場所の確保」

区立小・中学校の活用（取組１）において、スポーツひろばについては、コロナ禍以前と比べると利用者人数は少ない状況にあり、参加者数が目標に達しなかった。

その他の施設の活用（取組２）において、ランニング環境の整備については、今後、陸上競技場の整備に併せて、区民の利便性の向上につながるよう周辺環境を整備していく。

【基本目標3】スポーツにより支えあう社会の実現(障害者スポーツの推進)

スポーツは障害の有無にかかわらず、生活を豊かにし、感動を共に分かち合える素晴らしい力をもっています。また、障害者スポーツの推進は、地域社会の活性化や健康社会、共生社会の構築にもつながります。

パラリンピック競技のレガシーとして、障害者スポーツの理解を広める様々な取り組みを実施し、障害者スポーツに関心を持つ区民の割合を70%にまで高め、障害のある方とない方の相互理解を深めることで、スポーツにより支えあう社会の実現を目指します。

基本目標に対する昨年度の実施結果

○施策1「障害のある方がスポーツを始めるきっかけづくり」

気軽に障害者スポーツに触れる機会（取組2）において、スポーツの祭典（パラスポーツ）については、令和6年度よりオリンピック競技が体験できるイベントと統合して両競技が体験できるイベントへ変更した。今後もオリンピック競技だけでなく、パラリンピック競技を体験できる機会を提供していく。また、障害者スポーツ大会（ボッチャ交流大会）については、障害者支援団体へ大会案内を周知し、前年度より多くの方が参加し、障害者スポーツへの参加の機会を提供できた。

○施策2「障害者スポーツを継続できる環境づくり」

継続したスポーツ教室・イベント事業（取組1）において、城北ブロック4区合同レクリエーション大会については、台東区が開催区となり、各区と協議等を行ったうえで円滑に大会を実施することができた。

誰もが楽しく障害者スポーツをできる場所づくり（取組2）において、障害者スポーツ優先利用タイムの導入については、清島温水プールでの個人開放の時間帯に、障害のある方向けに優先レーンを設けている。引き続き、障害のある方が利用しやすい環境整備を進めていく。

○施策3「障害者スポーツを通じた相互理解」

共生社会に向けた障害者スポーツ教育・講座（取組1）において、区立小・中学校での障害者スポーツ教育については、区立全小・中学校で特別の教科道徳や総合的な学習の時間等を通じて実施しており、教材や授業展開の中で、パラリンピック競技等を取り扱っている学校もある。

障害者スポーツによる区民の交流（取組2）において、スポーツの祭典（パラスポーツ）については、令和6年度よりオリンピック競技が体験できるイベントと統合して両競技が体験できるイベントへ変更した。今後もオリンピック競技だけでなく、パラリンピック競技を体験できる機会を提供していく。また、障害者スポーツ大会（ボッチャ交流大会）については、障害者支援団体へ大会案内を周知し、前年度より多くの方が参加し、障害者スポーツへの参加の機会を提供できた。

パラリンピック競技の大会誘致・パラアスリート支援（取組3）において、パラアスリートへの支援及び連携については、座位パラバレーボールの全国大会を開催し、障害者スポーツ活動の支援及び普及に貢献できた。今後もより多くの選手の参加を促すため、団体との連携を強化し、周知方法等を検討していく。

取組等一覧

施策	事業名	評価
基本目標 1 生涯スポーツ社会の実現		
施策 1 子供の体力向上[重点施策]		
取組 1	幼児の体力向上指導	A
取組 2	【新規掲載】 中学校運動部活動の地域連携・地域移行	B
施策 2 高齢者が健康に暮らせるスポーツ施策の充実		
取組 1	夏期ラジオ体操地区大会の開催[再掲事業]	A
施策 3 働き盛り・子育て世代への支援		
取組 2	親子水泳教室	C
施策 4 身近なスポーツ環境づくり		
取組 1	ラジオ体操指導者講習会	A
	夏期ラジオ体操会地区大会の開催	A
取組 2	【新規掲載】 スポーツの祭典(たいとうスポーツフェスタ)	C
取組 3	台東リバーサイドスポーツセンター スポーツ教室	B
取組 4	区民体育祭の開催	C
取組 5	【新規掲載】 スポーツひろば オンラインスポーツ教室	C
施策 5 スポーツを支えあうひとのつながり		
取組 1	スポーツボランティアの育成	A
取組 2	社会教育関係団体登録・育成	A
取組 3	スポーツひろば指導員育成	C
施策 6 スポーツに関する講座の開催・情報発信		
取組 1	台東学びの広場	A
基本目標 2 スポーツのできる環境の整備		
施策 1 台東リバーサイドスポーツセンター屋外施設の整備[重点施策]		
取組 1	台東リバーサイドスポーツセンター陸上競技場の改修及び庭球場等周辺環境の整備	C
施策 2 バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進		
取組 1	台東リバーサイドスポーツセンター	C
取組 2	区立スポーツ施設職員の教育	B
施策 3 快適に利用できるスポーツ施設の運営		
取組 1	台東リバーサイドスポーツセンター	C
取組 2	荒川河川敷運動公園運動場	B
施策 4 身近な運動場所の確保		
取組 1	スポーツひろば	C
取組 2	ランニング環境の整備	C

基本目標3 スポーツにより支えあう社会の実現(障害者スポーツの推進)		
施策1 障害のある方がスポーツを始めるきっかけづくり		
取組1	【新規掲載】スポーツの祭典(パラスポーツ)	C
	【新規掲載】障害者スポーツ大会	B
施策2 障害者スポーツを継続できる環境づくり		
取組1	城北ブロック4区合同レクリエーション大会	A
取組2	障害者スポーツ優先利用タイムの導入	B
施策3 障害者スポーツを通じた相互理解[重点施策]		
取組1	区立小・中学校での障害者スポーツ教育	A
取組2	【新規掲載】スポーツの祭典(パラスポーツ)[再掲事業]	C
	【新規掲載】障害者スポーツ大会[再掲事業]	B
取組3	パラアスリートへの支援及び連携	A

教育事業評価シート

【基本目標 1 生涯スポーツ社会の実現】

【施策 1 子供の体力向上[重点施策]】

N0.	1-1-1	
取組	1 幼児の体力向上	
事業名	幼児の体力向上指導	
取組の概要	幼児の基礎体力向上と職員の指導力向上を図るため、区立幼稚園・保育園及び認定こども園全園にスポーツ専門指導員を配置します。	
事業目標	区立園23園（幼稚園10園、保育園10園、こども園3園）	
6 年度 事業 評価	担当評価	A 計画どおり区立園23園において、事業を実施している。
	成果、課題等	区立園23園において、スポーツ専門指導員の派遣計画に基づき事業を実施することにより幼児の基礎体力向上に寄与している。 なお、本事業での学びを教職員の保育力向上につなげていくことが必要である。

【教育支援館】

N0.	1-1-2	
取組	2 児童・生徒の体力向上	
事業名	【新規掲載】中学校運動部活動の地域連携・地域移行	
取組の概要	休日における中学校運動部活動を地域連携・地域移行するため、指導員の配置や活動場所を整備し、持続可能な活動環境とスポーツ体験格差の解消を目指します。	
事業目標	推進	
6 年度 事業 評価	担当評価	B 概ね計画どおりに進捗している。
	成果、課題等	令和6年度参加者数（延べ）：455人（陸上競技クラブ） 中学校部活動の地域連携・地域移行に向けて、令和5年度から部活動の改革推進期間のモデル事業として、陸上競技クラブを設置し、運動機会を確保すると共に、休日の陸上競技部指導に関する負担軽減を図った。今後、国が示した改革実行期間（前期として令和8～10年度、後期として令和11～13年度）に地域展開ができるよう関係者と連携して取り組んでいく。

【指導課・スポーツ振興課】

教育事業評価シート

【基本目標1 生涯スポーツ社会の実現】
 【施策2 高齢者が健康に暮らせるスポーツ施策の充実】
 【施策3 働き盛り・子育て世代への支援】

N0.	1-2-1	
取組	1 地域のつながりの強化	
事業名	夏期ラジオ体操会地区大会の開催[再掲事業]	
取組の概要	台東区フィジカルプロデューサーを講師に招き、7月下旬から8月上旬にかけて、区内11地区毎にラジオ体操の合同大会を実施し、区民の健康増進や、地区交流大会の促進を図ります。	
事業目標	11箇所（再掲事業）	
6年度事業評価	担当評価	A 計画どおりに進捗している。
	成果、課題等	令和6年度参加者数（延べ）：3,682人 区民の体力向上と健康で明るい生活の基盤をつくるため、区内11箇所でラジオ体操の普及を図ることができた。今後も、団体や町会との連携を強化し、参加者の増加に向けた取り組みが必要である。

【スポーツ振興課】

N0.	1-3-2	
取組	2 親子で参加できるスポーツ事業の実施	
事業名	親子水泳教室	
取組の概要	子供が身体の動かし方全般を覚えながら、親も一緒に身体を動かすプログラムを取り入れた水泳教室の実施を支援し、子育て中の親が、子供と一緒に身体を動かす機会を提供します。	
事業目標	参加者 200人	
6年度事業評価	担当評価	C 参加者数が目標値を下回ったため。
	成果、課題等	令和6年度参加者数：171人 令和6年度は、清島温水プールが改修工事のため、開館期間が5か月間であったことから、教室の実施回数が減となり、参加者数が目標値に満たなかった。今後は、より多くの親子の参加を促すため、更なる周知方法等を検討していく。

【スポーツ振興課】

教育事業評価シート

【基本目標 1 生涯スポーツ社会の実現】

【施策 4 身近なスポーツ環境づくり】

N0.	1-4-1-①		
取組	1 正しいラジオ体操の普及・促進		
事業名	ラジオ体操指導者講習会		
取組の概要	正しいラジオ体操の指導者を育成するための講習会を開催します。 また、指導者を各ラジオ体操会場に配置することにより、正しいラジオ体操を普及します。		
事業目標	参加者数100人		
6年度事業評価	担当評価	A	計画どおりに進捗している。
	成果、課題等	令和6年度参加者数：243人 夏期ラジオ体操会地区大会に向けて指導者育成のための講習会を4日間開催した。今後も、正しいラジオ体操の普及を図るため、団体と協力し、講習会の開催を広く周知していく。	

【スポーツ振興課】

N0.		1-4-1-②	
取組		1 正しいラジオ体操の普及・促進	
事業名		夏期ラジオ体操会地区大会の開催	
取組の概要		台東区フィジカルプロデューサーを講師に招き、7月下旬から8月上旬にかけて、区内11地区毎にラジオ体操の合同大会を実施し、区民の健康増進や、地区交流大会の促進を図ります。	
事業目標		11箇所	
6年度事業評価	担当評価	A	計画どおりに進捗している。
	成果、課題等	令和6年度参加者数（延べ）：3,682人 区民の体力向上と健康で明るい生活の基盤をつくるため、区内11箇所でラジオ体操の普及を図ることができた。今後も、団体や町会との連携を強化し、参加者の増加に向けた取り組みが必要である。	

【スポーツ振興課】

教育事業評価シート

【基本目標 1 生涯スポーツ社会の実現】

【施策 4 身近なスポーツ環境づくり】

N0.	1-4-2	
取組	2	スポーツを始めるきっかけづくり
事業名	【新規掲載】	スポーツの祭典(たいとうスポーツフェスタ)
取組の概要	区民にスポーツへ関心を持ってもらうため、「スポーツの日」にアスリートを招聘し、オリンピック競技をはじめとする様々なスポーツの体験会や区立スポーツ施設の無料開放を実施します。	
事業目標	(当初目標)参加者数2,500人 →(令和6年度より)参加者数2,700人	
6年度事業評価	担当評価	C 参加者数が目標値を下回ったため。
	成果、課題等	令和6年度参加者数：1,729人 令和6年度は清島温水プールが改修工事のため休館していたため、水泳事業は未実施となり、参加者数が減少した。 今後も、より多くの区民にスポーツに関心を持ってもらうため、周知等を積極的に行う。

【スポーツ振興課】

N0.	1-4-3	
取組	3	誰でも参加できる教室事業
事業名	台東リバーサイドスポーツセンター	スポーツ教室
取組の概要	台東リバーサイドスポーツセンターにおいて、指定管理者が行う各種のスポーツ教室の開催を支援します。	
事業目標	スポーツ教室開催支援の実施	
6年度事業評価	担当評価	B 一部実施できなかったスポーツ教室があるため。
	成果、課題等	教室数：10/11教室実施 ① 硬式テニス ② アーチェリー ③ ゲートボール ④ ダンスエクササイズ ⑤ 卓球 ⑥ 弓道 ⑦ 水泳 ⑧ バウンドテニス ⑨ ソフトテニス ⑩ バドミントン 今後、フェンシング初心者教室を再開できるよう、関係団体等と調整を図っていく。

【スポーツ振興課】

教育事業評価シート

【基本目標1 生涯スポーツ社会の実現】

【施策4 身近なスポーツ環境づくり】

N0.	1-4-4	
取組	4 区民が活躍する大会事業	
事業名	区民体育祭の開催	
取組の概要	区民がスポーツを楽しみながら交流の輪を広げ、体力・健康増進を図り、日頃の練習の成果を発揮する場として、区民体育祭を実施します。	
事業目標	参加者 9,000人	
6年度事業評価	担当評価	C 参加者数が目標値を下回ったため。
	成果、課題等	令和6年度参加者数（延べ）：5,866人 コロナ禍後、参加者数は増加傾向にあるが、コロナ禍以前と比べると依然として参加者数は少ない状況にある。今後も区民のスポーツへの関心と参加意欲を高めるため、各種スポーツ大会の開催を通じて、生涯にわたるスポーツの習慣化を促進していく。

【スポーツ振興課】

N0.	1-4-5	
取組	5 【新規掲載】オンラインを活用した事業	
事業名	【新規掲載】スポーツひろば オンラインスポーツ教室	
取組の概要	自宅にしながら簡単にできるストレッチや体操等のスポーツ教室をオンラインで実施します。	
事業目標	参加者数 240人	
6年度事業評価	担当評価	C 参加者数が目標値を下回ったため。
	成果、課題等	令和6年度参加者数：37人 コロナ禍における措置としてオンライン教室を導入したが、コロナ感染症の5類移行後は参加者数が目標値を下回っている。 今後は、スポーツひろば事業のなかで、オンライン部分は、事業の見直しを図っていく。

【スポーツ振興課】

教育事業評価シート

【基本目標1 生涯スポーツ社会の実現】
【施策5 スポーツを支えあうひとのつながり】

N0.		1-5-1	
取組		1 ボランティアの育成	
事業名		スポーツボランティアの育成	
取組の概要		スポーツボランティアの登録制度により、区内外のスポーツイベントの情報提供を行い、スポーツボランティアとして活躍できる場を提供します。	
事業目標		登録者数 180人	
6年度事業評価	担当評価	A	計画どおりに進捗しているため。
	成果、課題等	登録者数：196人 登録者数は、令和5年度時点から増加しており、ボランティアの参加により円滑なスポーツイベントの運営ができた。引き続き、ボランティア登録の呼びかけを行い、スポーツボランティアが活躍できる場を提供していく。	

【スポーツ振興課】

N0.		1-5-2	
取組		2 スポーツを行う団体との連携	
事業名		社会教育関係団体登録・育成	
取組の概要		区民が関心のあるスポーツやレクリエーションを含む学習活動について、自主的・自立的に活動されるよう、支援・育成を行う。	
事業目標		下記のとおり社会教育団体の活動を支援する。 社会教育関係団体登録・更新、相談、入会希望者への情報提供	
6年度事業評価	担当評価	A	団体活動を円滑に進めるための支援を実施しているため。
	成果、課題等	団体登録、団体からの個別相談等により社会教育関係団体の円滑な活動につなげることができている。 今後も、各団体が継続的に円滑な活動を進められるよう、相談対応を行い、適切な助言・指導を行う必要がある。	

【生涯学習課】

教育事業評価シート

【基本目標1 生涯スポーツ社会の実現】
 【施策5 スポーツを支えあうひとのつながり】
 【施策6 スポーツに関する講座の開催・情報発信】

N0.	1-5-3	
取組	3	スポーツを支える指導者の育成
事業名		スポーツひろば指導員育成
取組の概要		地域で気軽にスポーツが行える場として区立小・中学校等で実施しているスポーツひろばに派遣している指導者を対象とする講習会を実施し、指導員の資質向上を図ります。
事業目標		講習会 1回
6 年度 事業 評価	担当評価	C 指導者講習会が未実施であるため。
	成果、課題等	令和6～7年度期のスポーツひろば指導員は、前期と同様の指導員が担ったため講習会は未実施であった。今後は、新任だけでなく更新の指導員であっても、指導員の資質向上を図るため、外部講師による講習会等の受講により、指導者の充実を図っていく。

【スポーツ振興課】

N0.	1-6-1	
取組	1	スポーツへの理解を深める講座の開催
事業名		台東学びの広場
取組の概要		区民がスポーツを実施するきっかけとなるよう、スポーツへの理解を深めるための多彩な講座を社会教育センター、社会教育館などで開催する。
事業目標		区民がスポーツを実施するきっかけとなり、スポーツへの理解を深めることができる講座を3講座、開催する。
6 年度 事業 評価	担当評価	A 目標どおり講座を開催できているため。
	成果、課題等	講座を通じてスポーツに関する学習機会を提供することにより、区民のスポーツへの理解増進が図られた。また、講座終了後に自主的に活動を行うサークルが誕生した講座もあり、学習活動を通じた区民同士の交流も生まれてきた。 引き続き、より多くの区民がスポーツへの理解を深め、スポーツを実施するきっかけとなるよう、地域人材や区内の社会教育関係団体等と連携しながら、講座内容を工夫していく必要がある。

【生涯学習課】

教育事業評価シート

【基本目標2 スポーツのできる環境の整備】

【施策1 台東リバーサイドスポーツセンター屋外施設の整備[重点施策]】

【施策2 バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進】

N0.	2-1-1	
取組	1 陸上競技場の改修及び庭球場等周辺環境の整備	
事業名	台東リバーサイドスポーツセンター陸上競技場の改修及び庭球場等周辺環境の整備	
取組の概要	陸上競技場の改修をはじめ、庭球場等を含めた施設整備を実施し、魅力ある屋外スポーツ施設整備に取り組みます。	
事業目標	完了(令和8年度)	
6年度事業評価	担当評価	C 整備スケジュールを変更したため。
	成果、課題等	令和5年度に実施した陸上競技場の設計の設計を踏まえ、令和6年度に整備方針の見直しを行った。 今後、陸上競技場の整備に併せて、区民の利便性が向上につながるよう周辺環境を整備していく。

【スポーツ振興課】

N0.	2-2-1	
取組	1 建物のバリアフリー・ユニバーサルデザイン	
事業名	台東リバーサイドスポーツセンター	
取組の概要	陸上競技場改修工事でのバリアフリー化をはじめとし、台東リバーサイドスポーツセンター各施設におけるさらなるバリアフリー化やユニバーサルデザインに基づいた整備を促進します。	
事業目標	実施	
6年度事業評価	担当評価	C 整備スケジュールを変更したため。
	成果、課題等	陸上競技場には観覧席上部へ繋がるエレベーターの設置がなく、全てのトイレがバリアフリー化していないことから、今後の改築工事に併せて、整備をしていく。

【スポーツ振興課】

教育事業評価シート

【基本目標2 スポーツのできる環境の整備】
 【施策2 バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進】
 【施策3 快適に利用できるスポーツ施設の運営】

N0.	2-2-2		
取組	2	心のバリアフリー・ユニバーサルデザイン	
事業名	区立スポーツ施設職員の教育		
取組の概要	区立スポーツ施設に、障害者スポーツに関する知識や支援技術を持つ職員を配置し、障害の有無に関わらず、誰もが安全・安心に楽しく利用できるスポーツ施設を目指します。		
事業目標	実施		
6 年度 事業 評価	担当評価	B	概ね計画どおりに進捗している。
	成果、課題等	管理運営を業務委託している柳北スポーツプラザ、たなかスポーツプラザ及び荒川河川敷運動公園運動場には、初級パラスポーツ指導員の登録者を配置している。引き続き、利用しやすい施設となるよう適切な管理運営に努めていく。	

【スポーツ振興課】

N0.	2-3-1		
取組	1	スポーツ施設の管理運営	
事業名	台東リバーサイドスポーツセンター		
取組の概要	陸上競技場の改修をはじめとする屋外施設の整備を計画していることから、工事期間中は円滑な施設運営が図れるよう、公益財団法人台東区芸術文化財団の過去の大規模改修時の管理・運営経験を活かしていきます。また、施設運営にあたっては、個人開放やスポーツ教室を実施するなど、区民の多様なスポーツ活動の場である総合スポーツ施設として、体育館、陸上競技場などの運営を行います。		
事業目標	利用者数 475,000人		
6 年度 事業 評価	担当評価	C	利用者数は目標値を下回ったため。
	成果、課題等	令和6年度利用者数（延べ）：378,690人 スポーツ教室のうちフェンシング教室は休止となっているため、今後、初心者向けフェンシング教室の再開に向けて、団体と協議・調整していく。	

【スポーツ振興課】

教育事業評価シート

【基本目標2 スポーツのできる環境の整備】
 【施策3 快適に利用できるスポーツ施設の運営】
 【施策4 身近な運動場所の確保】

N0.	2-3-2	
取組	2 区外スポーツ施設の利用	
事業名	荒川河川敷運動公園運動場	
取組の概要	区民のスポーツ活動を行う場を充実させるため、荒川河川敷を国土交通省から借り受け、野球場や、台東区立のスポーツ施設で唯一のサッカー場として区民に貸し出します。	
事業目標	利用者数28,000人	
6年度事業評価	担当評価	B 概ね計画どおりに進捗している。
	成果、課題等	令和6年度利用者数（延べ）：26,858人 利用者数が目標値を下回ったが、令和5年度より4,000人以上利用者が増加している。今後も、区民のスポーツの利便性向上を図るため、適切な管理運営に努めていく。

【スポーツ振興課】

N0.	2-4-1	
取組	1 区立小・中学校の活用	
事業名	スポーツひろば	
取組の概要	区民が身近な場所でスポーツを始めるきっかけの場として、競技スポーツのほか、気軽に取り組めるニュースポーツなどの教室を実施します。	
事業目標	利用者数8,000人	
6年度事業評価	担当評価	C 参加者数が目標人数を下回ったため。
	成果、課題等	令和6年度利用者数（延べ）：5,959人 10校、10種目のスポーツができる場として、小・中学校を開放している。令和6年度は、前年度及び目標人数を下回っている。 今後、スポーツひろばが身近な運動場所であることを知ってもらうため、更なる周知方法等を検討していく。

【スポーツ振興課】

教育事業評価シート

【基本目標 2 スポーツのできる環境の整備】

【施策 4 身近な運動場所の確保】

NO.		2-4-2	
取組		2 その他の施設の活用	
事業名		ランニング環境の整備	
取組の概要		陸上競技場大規模改修にあたりランニングステーション機能を設置します。またランニングコース等の情報発信を行い、区民が身近な場所で快適にランニングに取り組める環境を整備します。	
事業目標		実施	
6年度事業評価	担当課評価	C	整備スケジュールを変更したため。
	成果、課題等	令和5年度に実施した陸上競技場の設計の設計を踏まえ、令和6年度に整備方針の見直しを行った。 今後、陸上競技場の整備に併せて、区民の利便性が向上につながるよう周辺環境を整備していく。	

【スポーツ振興課】

教育事業評価シート

【基本目標3 スポーツにより支えあう社会の実現（障害者スポーツの推進）】

【施策1 障害のある方がスポーツを始めるきっかけづくり】

N0.	3-1-2-①	
取組	2	気軽に障害者スポーツに触れる機会
事業名	【新規掲載】	スポーツの祭典(パラスポーツ)
取組の概要	障害のある方が気軽に障害者スポーツに触れ、また、多くの区民が障害者スポーツに関心を持てるよう、パラアスリートを招聘し、パラリンピック競技等が体験できるスポーツイベントを開催します。	
事業目標	(当初目標)参加者数200人 →(令和6年度より)参加者数2,700人	
6年度事業評価	担当評価	C 参加者数が目標人数を下回ったため。
	成果、課題等	令和6年度参加者数(延べ):1,729人 令和5年度までオリンピック競技とパラリンピック競技を、それぞれ分けた体験イベントを実施していたが、令和6年度より統合して体験できるイベントへ変更したため、目標人数についても変更している。 今後もオリンピック競技だけでなく、パラリンピック競技を体験できる機会を提供していく。

【スポーツ振興課】

N0.	3-1-2-②	
取組	2	気軽に障害者スポーツに触れる機会
事業名	【新規掲載】	障害者スポーツ大会
取組の概要	障害のある方が気軽に障害者スポーツに触れ、また多くの区民が障害者スポーツに関心を持てるよう、障害の有無に関わらず楽しむことができる障害者スポーツの大会を開催します。	
事業目標	参加者数100人	
6年度事業評価	担当評価	B 概ね計画どおりに進捗している。
	成果、課題等	障害者スポーツ大会(ボッチャ交流大会)を実施。 参加者数:96人 令和6年度は、より多くの参加者を募るため、障害者支援団体へ大会案内を周知し、前年度(62名)より多くの方が参加し、障害者スポーツへの参加の機会を提供できた。今後は、より多くの方の参加を促すため、更なる周知方法等を検討していく。

【スポーツ振興課】

教育事業評価シート

【基本目標3 スポーツにより支えあう社会の実現（障害者スポーツの推進）】

【施策2 障害者スポーツを継続できる環境づくり】

N0.	3-2-1	
取組	1 継続したスポーツ教室・イベント事業	
事業名	城北ブロック4区合同レクリエーション大会	
取組の概要	下谷青年学級内で年に1回、文京・北・荒川区の知的障害者を対象とした青年学級と、合同でレクリエーション大会を実施し、様々なスポーツ・レクリエーションを通じて、幅広い仲間づくりと学級生の主体的な活動を進める。	
事業目標	城北ブロック4区合同レクリエーション大会を年1回、開催する。	
6年度事業評価	担当評価	A 目標通り開催することができたため。
	成果、課題等	本区が開催区となり、各区との協議・調整を行い、円滑に大会を実施することができた。 引き続き、各区と連携・協力して大会を開催することで、学級生のスポーツ・レクリエーションの環境を確保するとともに、交流を促進していく必要がある。

【生涯学習課】

N0.	3-2-2	
取組	2 誰もが楽しく障害者スポーツをできる場所づくり	
事業名	障害者スポーツ優先利用タイムの導入	
取組の概要	障害のある方が身近にスポーツやレクリエーション活動を行い、また地域での障害者スポーツが定着するよう、区立スポーツ施設の個人開放において、優先的に利用できる時間帯を導入します。	
事業目標	実施	
6年度事業評価	担当評価	B 概ね計画どおりに進捗している。
	成果、課題等	清島温水プールにおいて、個人開放の時間帯に、障害のある方向けに優先レーンを設けている。 引き続き、障害のある方が利用しやすい環境整備を進めていく。

【スポーツ振興課】

教育事業評価シート

【基本目標3 スポーツにより支えあう社会の実現（障害者スポーツの推進）】

【施策3 障害者スポーツを通じた相互理解[重点施策]】

N0.	3-3-1		
取組	1 共生社会に向けた障害者スポーツ教育・講座		
事業名	区立小・中学校での障害者スポーツ教育		
取組の概要	パラリンピック競技（歴史、意義、人物、競技種目等）について学習するとともに、障害者スポーツの体験や競技者との交流を通じ、障害のある方への理解を進める教育を充実させ、多様性を尊重し、共に助け合い、支え合って生きていく児童・生徒を育成します。		
事業目標	実施		
6年度事業評価	担当評価	A	区立小・中学校で実施できたため。
	成果、課題等	障害者教育については、区立全小・中学校において、特別の教科 道徳や総合的な学習の時間等を通じて実施している。さらに、教材や授業展開の中で、パラリンピック競技等を取り扱っている学校もある。 また、小・中学校では障害者スポーツ体験や障害者スポーツ競技者との交流の機会を設ける等、障害者の理解を深めている。	

【指導課】

N0.		3-3-2-①		
取組		2 障害者スポーツによる区民の交流		
事業名		【新規掲載】スポーツの祭典(パラスポーツ)[再掲事業]		
取組の概要		障害のある方が気軽に障害者スポーツに触れ、また、多くの区民が障害者スポーツに関心を持てるよう、パラアスリートを招聘し、パラリンピック競技等が体験できるスポーツイベントを開催します。		
事業目標		(当初目標)参加者数200人 →(令和6年度より)参加者数2,700人(再掲事業)		
6 年度 事業 評価	担当評価	C	参加者数が目標人数を下回ったため。	
	成果、課題等	6年度参加者数(延べ): 1,729人 令和5年度までオリンピック競技とパラリンピック競技を、それぞれ分けた体験イベントを実施していたが、令和6年度より統合して体験できるイベントへ変更した。 今後もオリンピック競技だけでなく、パラリンピック競技を体験できる機会を提供していく。		

【スポーツ振興課】

教育事業評価シート

【基本目標3 スポーツにより支えあう社会の実現（障害者スポーツの推進）】

【施策3 障害者スポーツを通じた相互理解[重点施策]】

N0.	3-3-2-②		
取組	2 障害者スポーツによる区民の交流		
事業名	【新規掲載】障害者スポーツ大会[再掲事業]		
取組の概要	障害のある方が気軽に障害者スポーツに触れ、また多くの区民が障害者スポーツに関心を持てるよう、障害の有無に関わらず楽しむことができる障害者スポーツの大会を開催します。		
事業目標	参加者数100人（再掲事業）		
6年度事業評価	担当課評価	B	概ね計画どおりに進捗している。
	成果、課題等	障害者スポーツ大会（ボッチャ交流大会）を実施。 参加者数：96人 令和6年度は、より多くの参加者を募るため、障害者支援団体へ大会案内を周知し、前年度（62名）より多くの方が参加し、障害者スポーツへの参加の機会を提供できた。今後は、より多くの方の参加を促すため、更なる周知方法等を検討していく。	

【スポーツ振興課】

N0.		3-3-3	
取組		3 パラリンピック競技の大会誘致・パラアスリート支援	
事業名		パラアスリートへの支援及び連携	
取組の概要		台東区とつながりが深いパラリンピック競技のアスリートに対して、活動場所の確保等を行い、台東区を活動の拠点とした障害者スポーツ活動を支援します。また、支援するパラアスリートと連携し、区民の障害者スポーツへの関心の向上を図ります。	
事業目標		実施	
6年度事業評価	担当評価	A	計画どおりに進捗している。
	成果、課題等	夏パラバレーボール選手権を実施。 参加者数：191人 東京2020パラリンピック競技大会の正式種目である座位パラバレーボールの全国大会を開催し、障害者スポーツ活動の支援及び普及に貢献できた。今後もより多くの選手の参加を促すため、団体との連携を強化し、周知方法等を検討していく。	

【スポーツ振興課】

6 学識経験者による意見

○白旗 和也(日本体育大学教授・博士)

【基本目標1】生涯スポーツ社会の実現

〔全般〕

スポーツ基本法では、いつでも、どこでも、誰でも、いつまでも、スポーツと関わることをできる豊かなスポーツライフの実現を目指している。このことから、基本目標1の実現は重要度が高いと評価できる。一方で、スポーツ実施率70%という目標は実現可能なレベルなのか検討が必要であると考えられる。まず、実現可能な数値目標から、達成したら次へというステップが現実的ではないか。評価については、実施した回数、参加人数などの数量的な評価が中心となっているが、その内容が充実していたのかといった質的な評価にも本来触れるべきである。

例えば「幼児の体力向上指導」(No.1-1-1)については、全園で事業実施できたことからA評価としているのだろうが、それが具体的にどのように幼児の基礎体力向上につながったのか。また、「ラジオ体操指導者講習会」(No.1-4-1-①)では、参加者数が243人であり、目標を達成しているが「正しいラジオ体操の指導者を育成するための講習会」であることを考えると、正しいラジオ体操が身についたのか、講習内容の満足度はどうであったのか、といった事業の質に関する検討が必要になると考えられる。他の事業も同様に数量的な評価による判断が目立つことについては今後、検討が必要であろう。また、減少傾向にある事業については、要因を検討していくことが大切である。

〔個別事業について〕

・「幼児の体力向上指導」(No.1-1-1)については、運動が好きになるか否かは、幼児期の運動的な遊びの影響が大きいことから、決して練習ではなく、楽しく体を動かす機会を今後も増やして欲しい。

・「中学校運動部活動の地域連携・地域移行」(No.1-1-2)については、部活動に関しての取り組みについては評価できる。一方で、幼児期からつながる児童期の体力向上方策についても施策が必要ではないかと考える。

・「親子水泳教室」(No.1-3-1)については、C評価であるが、1か月あたりの参加人数を比較するなど、プール改修というやむを得ない事情であり、別の指標で評価することも考えられるのではないかと。また、母親のスポーツへの愛好度が子供のスポーツ機会の向上に寄与すると言われていることから、普段の生活の中で気軽に実施できる内容を検討できるとよいのではないかと。

・「台東リバーサイドスポーツセンター スポーツ教室」(No.1-4-3)については、ニュースポーツの採用も検討すると一層参加しやすくなるのではないだろうか。

【基本目標２】スポーツのできる環境の整備

〔全般〕

スポーツに限らず、体を動かすためには場所や用具などの環境整備が不可欠である。特に台東区のように運動する場所が限られる環境においては、重点施策と考えられる。施設のバリアフリー・ユニバーサルデザイン化を進めていることには評価できる。

しかし、施設の利用が新型コロナウイルス感染拡大以前よりも施設利用が大きく減少していることについては、その要因を明らかにする必要がある。スポーツ基本法の改正にも盛り込まれたように気候変動に対応した施設の在り方、施設において利用できる用具などの整備も期待される。更には使い方についても課題がある可能性がある。一般的な運動実施では、スポーツよりも手軽な体操や自己の状況に適したウォーキングなどが多い。こうしたニーズに対応した施設開放の在り方についても一層検討が必要と考えられる。

〔個別事業について〕

・施策２のバリアフリー・ユニバーサルデザイン推進については、さらに推進することが望まれる。一方で、使い方として障害のある方、一般の方がバランスよく使えるように検討を進めてほしい。特に障害のある方の要望を聞き取りつつ、進めていくことが肝要である。

・「スポーツひろば」(No.2-4-1)については、充実した施設である学校の施設を使用できることは大変望ましい施策である。一層充実するためには、自由に参加できる場の確保とともに、イベントとして参加しようとする機会の設定も必要である。また、子供だけでなく、親子で参加できる場にしていくことも開放及びイベントの充実を目指していく上で望ましいのではないかな。

【基本目標３】スポーツにより支えあう社会の実現(障害者スポーツの推進)

[全般]

スポーツ基本法の理念にあるように、老若男女、障害のあるなしにかかわらず、すべての人がスポーツにおいて共生できる社会の実現を目指すことが望ましい。この点において基本目標３の実現に向けた取り組みは評価できる。スポーツはする・見る・支える・知る・育てる・広げるといった様々な視点があり、障害者スポーツの推進に当たっては、することはもちろん、見る機会を増やすことも影響が大きいと考えられる。

また、障害者スポーツに関心を持つ区民の割合を７０％にまで高めることを目標にしているが、現実的に数年でクリアできそうな数値目標なのか検討が必要ではないか。目標が高すぎて達成できないことが続くよりも、スモールステップで達成してから次へ進むことでもよいのではないか。

[個別事業について]

・「障害者スポーツ優先利用タイムの導入」(No.3-2-2)については、誰もが楽しく障害者スポーツをできる場所づくりとして重要な施策である。一方で、バランスよく時間や場所の設定をしなければ、一般の方の利用が制限されることから、継続的に利用状況の把握をし、実施方法を検討していくことが大切である。

・「区立小・中学校での障害者スポーツ教育」(No.3-3-1)においては、イベントだけ、特定の学校だけの取り組みで終わらないように注意する必要がある。物事を正しく理解するうえで、小中学校の教育は重要である。オリンピック・パラリンピック教育の理念を浸透させていく上でも、すべての学校で実施できるよう教育委員会で予算措置を検討してほしいところである。そうした取り組みが実施できれば、「スポーツの祭典(パラスポーツ)[再掲事業]」(No.3-2-2)などの障害者スポーツによる区民の交流において参加者の増加、理解の促進が可能であると考ええる。

○池谷 美衣子(東海大学准教授・博士)

【基本目標１】生涯スポーツ社会の実現

[全般]

点検評価の対象となった１４事業のうち、Ａ評価７件、Ｂ評価２件、Ｃ評価５件という結果であった。概ね順調に進捗しているが、Ｃ評価の事業は参加者数が目標値を下回ったケースが多い。特に参加者数がコロナ以前に戻らないという指摘は重要であり、コロナ禍を経て区民のライフスタイルが変化していることが示唆される。

そのような変化の中で「区民のスポーツ実施率７０％」という高水準の目標を達成するためには、スポーツの習慣から縁遠くなっている区民をターゲットにしていく必要があると思われる。

例えば、一般的に最も運動習慣のない者の割合が高いのは男女ともに２０～３０代の若年層であるが（令和５年国民健康・栄養調査、厚生労働省）、少なくとも若年層を主たる対象とした事業は設定されていない（子育て世帯を除く）。

したがって、評価シートでは現行事業への参加者の属性は明らかにされていないが、各事業の参加者の年代、性別、国籍、居住地域などについて可能な限り情報を収集・分析しながら、目標達成に向けた戦略的な事業の推進を期待したい。

[個別事業について]

・「中学校運動部活動の地域連携・地域移行」（No.1-1-2）：全国的に多様な課題が明らかになっており、本区においても関係者間調整や持続可能な体制づくりの難しさが予想される。着地点を作るためにも、短期的・長期的な課題と対応を仕分けながら議論を重ねていただきたい。

また、長期的には、生徒の育つ権利やスポーツ機会の公正な保障など、核となる価値観を関係者が共有し、それに根ざした台東区モデルが開発されることを期待したい。

・「オンラインを活用した事業」（No.1-4-5）：参加者数の少なさから事業の見直しが予定されているが、オンラインでなければスポーツに参加できない区民への機会提供になっている場合には参加者数が少なくても一定の意義がありうる。事業の見直しにあたっては、人数だけでなく参加者の生活環境や意見を踏まえて検討いただきたい。

【基本目標２】スポーツのできる環境の整備

〔全般〕

点検評価の対象となった７事業のうち、Ａ評価０件、Ｂ評価２件、Ｃ評価５件という結果であり、進捗に課題のある事業が多くなっている。Ｃ評価のうち、２事業は利用者（参加者）数が目標値を下回ったことが理由で、残る３事業は整備スケジュールの変更によるものである。

ハード面の整備の遅れは、区民が日常的にスポーツに親しむ機会という面から、区民のスポーツ習慣の低下に影響を与えることが強く懸念される。施設整備を着実に進めることに合わせて、遅れがあっても区民が新施設に期待をもち利用再開を楽しみに待つことができるよう、進捗に関する積極的な情報開示と透明性の確保に努めていただきたい。また、その間の代替として、スポーツに利用できる公共の場に関する情報をまとめて提供するなど、スポーツ習慣の低下につながらないようにできる限りの対応をお願いしたい。

〔個別事業について〕

・「台東リバーサイドスポーツセンター陸上競技場の改修及び庭球場等周辺環境の整備」（No.2-1-1）、「台東リバーサイドスポーツセンター」（No.2-2-1）、「ランニング環境の整備」（No.2-4-2）：いずれもＣ評価（整備スケジュールを変更した）の事業である。評価シートには整備方針の変更があったとの記載のみで、具体的な理由や今後の見通しについての言及がないため、次年度以降の見通しやスポーツ振興計画全体への影響を含めて説明される必要がある。

・「台東リバーサイドスポーツセンター」（No.2-3-1）：目標利用者数４７５，０００人に対し、利用者数（延べ）３７８，６９０人であり、Ｃ評価となっている。これに対し、スポーツ教室としてフェンシング教室が休止となっている旨が説明されているが、フェンシング教室の開催だけでは目標値の達成は考えにくく、より適切な成果・課題の分析を求めたい。

【基本目標３】スポーツにより支えあう社会の実現(障害者スポーツの推進)

[全般]

点検評価の対象となった８事業のうち、Ａ評価３件、Ｂ評価３件、Ｃ評価２件という結果であった。障害者が身近で安心してスポーツする機会の提供、障害者同士の交流を生み出す事業、障害者スポーツについて学んだり体験する事業、パラアスリート支援事業など、多様な切り口の事業が展開されていることを評価したい。

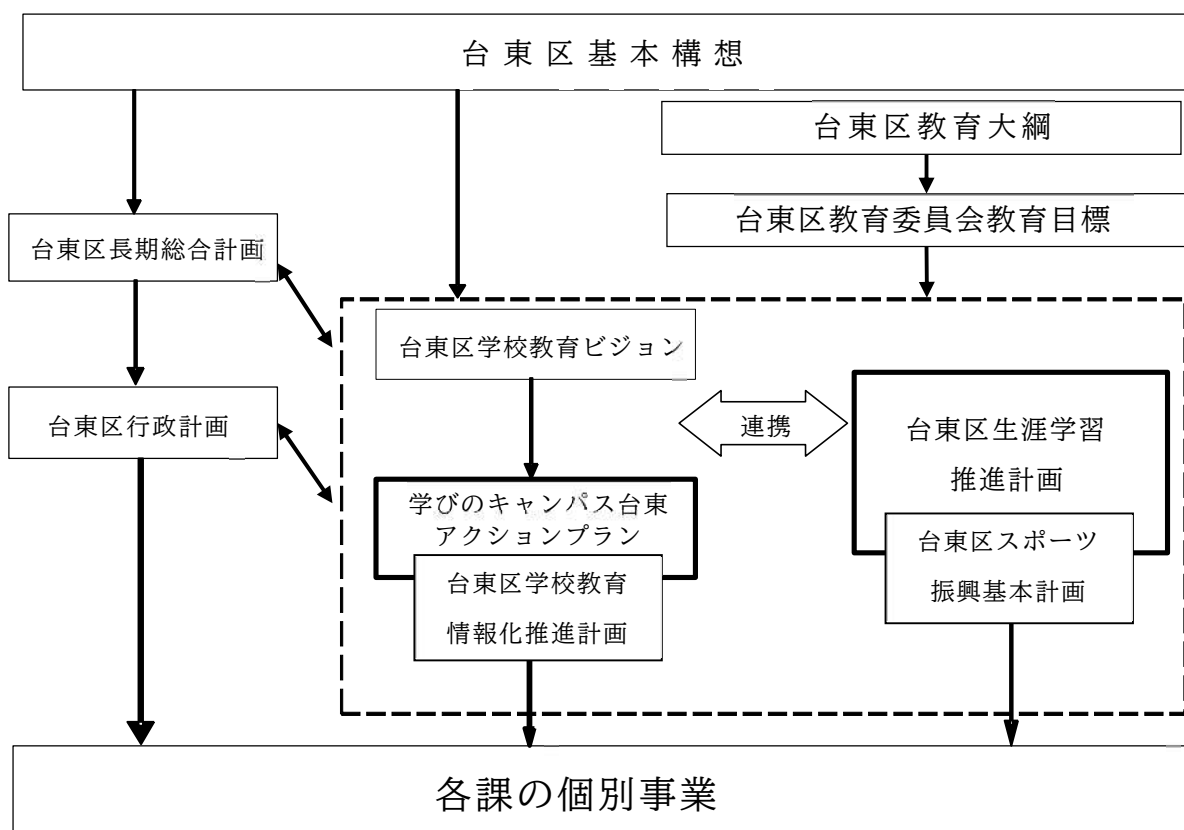
また、障害者がスポーツを「する人」だけでなく「支える人」にもなることができるよう、インクルーシブなスポーツの環境を醸成してほしい。

[個別事業について]

・「城北ブロック４区合同レクリエーション大会」(No.3-2-1)：障害者にとって区を超えた仲間づくりの貴重な機会として評価される。運営面を含めて当事者の意見や思いが一層引き出されるような主体的な活動の場となることを期待したい。

7 参考資料

○ 教育振興のための施策に関する基本的な計画一覧



※ [] は「教育振興のための施策に関する基本的な計画」

「台東区学校教育ビジョン」、「学びのキャンパス台東アクションプラン」、「台東区生涯学習推進計画」、「台東区スポーツ振興基本計画」は、教育基本法第17条第2項に基づいて策定する、台東区の「教育振興のための施策に関する基本的な計画」として位置づけられています。

台東区教育大綱

台東区は、上野、浅草、谷中、隅田川など歴史と伝統に恵まれた地域を擁し、情緒ある個性豊かな文化を育んできたまちです。日々のにぎわいある暮らしの中で、子供からお年寄りまで様々な世代が助け合い、心意気と人情で支え合いながら希望と活力にあふれた暮らしを続けています。

今、本区では、こうしたかけがえのない財産を活かし、「教育はひとづくり」の観点から、台東区のまち全体を人が成長するための環境「学びのキャンパス」としてとらえ、学校、家庭、地域の信頼と支え合いの中で、将来の台東区を担うひとづくりを推進しています。

今後も、この施策をさらに充実させ、地域に支えられたひとづくりが、世界に輝く台東区を築く人材を育むとともに、平和で、多様な人々が活躍できる魅力あるまちづくりへと結びつくよう、次の項目に取り組みます。

●温故創新とこころざし

台東区の歴史、文化を尊重し、伝統・技能を継承、発展させるとともに、こころざしを立て、新たな地域や社会を創造するひとづくりを進めます。

●自己実現と支え合い

区民が生涯を通じて自己実現に努め、自他を尊重し共に支え合い、変化が大きい社会を生き抜く力を培えるよう支援します。

●教育に対する信頼と尊敬

教育に携わる教師・保育士の資質向上をたゆまず図り、子供たちや保護者、地域から、より信頼され尊敬される人材を育成します。

●心の豊かさと学びの環境づくり

区民一人ひとりが心豊かに生涯を送れるよう、いつでも、どこでも、誰もが、ライフステージに応じて学べる環境を整備します。

●絆と地域力

家庭や地域社会の絆を大切にし、活力あるコミュニティの形成に努め、地域力を高めます。

令和元年5月8日

台東区長 服部 征夫

《教育目標》

台東区教育委員会は、子供たちが心身ともに健康で、人権尊重の精神を基調として人間性豊かに未来を創造する人材に成長することを願い、

- 互いの人格や多様性を尊重し、思いやりの心と規範意識をもつ人
- 個性や豊かな創造力、健やかな体を持ち、自ら学び、考え、行動する人
- 台東区の歴史・文化に誇りをもち、地域社会を愛し、発展に貢献できる人の育成に向けた教育を充実する。

また、だれもが生涯にわたり自己実現に生きがいを見出し、学びを継続し、心豊かに人生を送ることのできる生涯学習社会の実現を図る。

そして、あらゆる世代が豊かな人間性を養い、心身ともに健やかに成長することができる多様な機会を創出する。

《基本方針》

台東区教育委員会は、「教育目標」達成のため、以下の「基本方針」に基づき、総合的に教育施策を推進する。

【基本方針1 人権尊重の精神の育成】

幼児・児童・生徒が人権尊重の精神にもとづき、生命を尊び、自他を尊重する心や社会の基本的ルールを身に付け、社会の形成者としてよりよく成長できるよう、家庭・学校（園）・地域社会・関係機関が、それぞれの役割と責任を果たし、緊密な連携のもとに人権教育を推進する。

【基本方針2 学校教育の充実】

未来を創造する幼児・児童・生徒が、たくましく生き抜くことができるよう、健康の増進と体力の向上を図るとともに、基礎・基本を確実に定着させ、自ら学ぶ意欲や態度、思考力、判断力、表現力等の「確かな学力」を育成する。また、集団生活の中で、正義と責任、規律を重んじる態度や社会性を涵養するとともに、個性と創造力を伸ばすことを通して、「生きる力」の基礎を培う学校教育を充実する。

生涯にわたる人格形成の基礎を培うために重要な幼児教育及び学校教育において公教育とともに重要な役割を果たしている私立学校教育については、その振興に努める。

【基本方針3 生涯学習の推進】

区民が生きがいと地域社会に対する愛着をもって生活することのできる生涯学習社会を確立するため、歴史や文化芸術、スポーツ等、多様な学習や活動の機会の提供と質の充実に努める。また、関係団体の自主的な活動の場等の条件整備を一層図り、生涯学習を推進する。

【基本方針4 区民の教育参加の推進】

家庭・学校（園）・地域社会のすべてを人が生涯にわたって学ぶための環境とし、すべての区民が連携・協働して、共に育ちあう地域社会を形成できるよう、区民の教育参加を推進する。

令和7年度

教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価

報 告 書

令和7年9月発行

編集・発行 台東区教育委員会

〒110-8615 東京都台東区東上野4-5-6

電話 03-5246-1402 / FAX 03-5246-1409

メールアドレス : ed-shomu.lqt@city.taito.tokyo.jp